



新毎日

12月1日(金)
2017年(平成29年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

号外

5月1日即位・改元

退位19年4月30日



天皇、皇后両陛下—皇居の庭園で、いずれも宮内庁提供

皇室会議受け政府決定へ

天皇陛下の退位日決定の前提として安倍晋三首相が意見を聴く皇室会議が1日、宮内庁で開催された。皇室会議の意見を踏まえ、政府は退位の日を2019年4月30日とする方針を固めた。皇太子さまの即位の日を5月1日とし、同時に改元する考えだ。退位日を決める政令を8日閣議決定する。

天皇陛下の退位を実現する特
例法は、退位の日を政令で定め
るにあたり、首相はあらかじめ
皇室会議を開き、意見を聴かな
ければならないと規定してい

る。
政府は当初、18年12月末に陛
下が退位する日程を検討してい
たが、年末年始の皇室行事に重
なることから宮内庁が難色を示

した。政府内で検討を続け、年
度末で区切りも良いことから19
年3月31日を退位日とする案が
浮上した。
しかしこの時期は統一地方選



皇太子さま—東宮御所で

に向けて与野党の攻防が激化す
ることが予想される。3月末は
予算案を巡る国会審議が大詰め
を迎える時期でもある。元号の
切り替えに伴う官公庁のシステ
ム変更と、異動に伴う転居の時
期が重なることも懸念される。
皇位継承は静かな環境で行うの
が望ましいとの意見が政府内で
強まり、退位日を4月30日とす
る案が有力となっていた。

皇室会議は、皇室の重要事項
を審議する機関。皇室典範に規
定され、三権の長や皇族ら10人
の議員で構成し、首相が議長を
務める。今回は1993年1月
に皇太子さまの結婚を了承する
際に開かれて以来、約25年ぶり
8回目の開催となる。

皇室典範が規定する皇室会議
の審議事項は▽皇位継承順位1
位の「皇嗣」が重い病気である
ことなどを理由とする皇位継承
順位の変更▽天皇の重い病気な
どを理由とする摂政の設置▽男
性皇族の結婚▽特別な理由があ
る場合の皇族の身分からの離脱
—など5項目。審議には6人
以上の出席が必要で、多数決で
議決する。

初めて開かれたのは47年10月
で、戦後の皇室改革に伴い皇族
14人の離脱を決めた。その他は
全て男性皇族の結婚が審議さ
れ、いずれも可決している。

購読お申し込み

毎日新聞のニュースサイト
<https://mainichi.jp/>

専用フリー
ダイヤル

ヨムハマニチ
0120-468012